

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	宮前区第1グループ(宮崎・有馬・野川)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28		H29		H28		H29																																																																									
	1 宮崎こども文化センター ①年間延べ利用者数	46,448人	47,731人	②年間延べ利用団体数	1,402団体	1,661団体																																																																										
2 宮崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	500人	486人	②年間延べ利用者数	32,910人	33,943人																																																																											
3 宮崎台小学校わくわくプラザ ①登録者数	348人	380人	②年間延べ利用者数	20,080人	22,108人																																																																											
1 有馬こども文化センター ①年間延べ利用者数	27,241人	27,773人	②年間延べ利用団体数	354団体	374団体																																																																											
2 西有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	439人	465人	②年間延べ利用者数	21,619人	25,727人																																																																											
3 有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	169人	164人	②年間延べ利用者数	11,260人	11,195人																																																																											
4 鷺沼小学校わくわくプラザ ①登録者数	438人	438人	②年間延べ利用者数	23,297人	27,500人																																																																											
1 野川こども文化センター ①年間延べ利用者数	50,557人	45,215人	②年間延べ利用団体数	494団体	415団体																																																																											
2 西野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	177人	191人	②年間延べ利用者数	7,897人	8,299人																																																																											
3 野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	259人	274人	②年間延べ利用者数	14,834人	15,398人																																																																											
4 南野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	208人	210人	②年間延べ利用者数	11,330人	14,647人																																																																											
収支実績	<p style="text-align: center;">単位:円</p> <table border="1"> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td></td> <td></td> <td>191,160,529</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td>170,762,970</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td></td> <td>13,709,865</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td></td> <td>8,984,523</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td></td> <td>11,062,227</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>204,519,585</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td></td> <td></td> <td>-13,359,056</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								1 収入								指定管理料			191,160,529					2 支出								人件費		170,762,970						管理費		13,709,865						事務経費		8,984,523						その他経費		11,062,227						合計		204,519,585						3 差引			-13,359,056				
1 収入																																																																																
指定管理料			191,160,529																																																																													
2 支出																																																																																
人件費		170,762,970																																																																														
管理費		13,709,865																																																																														
事務経費		8,984,523																																																																														
その他経費		11,062,227																																																																														
合計		204,519,585																																																																														
3 差引			-13,359,056																																																																													
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。																																																																															

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
事業の推進	(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・宮前区第1グループ合同事業として、宿泊を伴う野外活動行事として、「おとまりだ！キャンプだホイ！」を実施した。地域の特性として、公園が近いことから、草花を集めてフォトフレームの飾り作りを取り入れる等、地域資源を活かした取組がなされており、野外活動を通して、異年齢交流が促進されている。 ・野川こども文化センターでは、新たな取組として、職員にマジックを披露していた中学生が講師となり、幼児親子や小学生向けの「たっさーのマジックショー」を開催して講師の中学生の自信形成につながった。また、小中学生や幼児向けに畑作業を体験する「ファームクラブ」を開催し、子どもが土と触れ合う機会を提供した。 ・西野川小学校わくわくプラザでは、食育事業として、「手作りおやつ」「手作りランチ」を実施した。子ども運営会議で意見を集約し、子どもたちと一緒に「トッピングパフェ」や「ホットドッグ」等、様々なメニューを作っており、子どもたちや保護者にも好評な行事となっている。 ・さらに、宮崎こども文化センターにおいては、音楽室が完備している強みを生かし、中高生に対して、音楽教室を実施する等、独自の取組を行っている。 ・こうした取組の結果、中高生の利用者数は、昨年度と比較し、約5500人増加している。				
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
サービス向上及び業務改善	(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、施設利用ルールの改定や購入図書の設定等に利用者意見を反映しているとともに、苦情等への対応が適切に行われている。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について保護者、小学校や児童コーディネーター等と連携し、情報共有を行っている他、巡回相談員を講師として、「特別な支援を必要とする児童への対応研修」を実施し、職員の資質向上に努めている。特に、野川小学校わくわくプラザでは、学校側のケースカンファレンスに出席して、情報共有を行っている。 ・学校及び行政機関との連携について、小学校や高等学校の生徒受け入れや老人いこいの家、NPO法人等と連携し、特色ある事業を実施している。特に、有馬小学校わくわくプラザでは、新たな連携先として、「有馬保育園」訪問事業を年2回実施した。けん玉や読み聞かせ等を披露するとともに、園児とボール遊び等を行った。 ・施設・事業の広報について、宮崎こども文化センターでは、音楽室利用者増を目指し、新たに神奈川県立元石川高等学校へポスター配布依頼をし、音楽室登録やボランティア申込みにつなげている。また、HPやおたより等に活動写真を多用する等、利用者や保護者に読んでもらう工夫を行っている。さらに、中高生たよりを年に3回、乳幼児たよりを年に4回発行した。				

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 ・職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、研修内容を印刷・ファイリングしたものを、受講していない職員・臨時職員に回覧できるようにしていた。特に、区研修として「ドッジビー審判研修」を実施し、ルールや試合運営について学び、職員全員がで、宮前区6館合同事業「ドッジビーみやりんピックシリーズ8」の実施に活かされた。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実は無かった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 ・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。特に、防犯知識の定着や防犯意識を醸成させる目的で宮前区第1グループ合同行事として「防犯スポーツプロジェクト」を実施した。これは、スポーツ関係のNPOと連携して、実践的な防犯対策の啓発を行うイベントであり、特に今年度は、地域のプロレス団体も協力し、プロレスラーの実演による護身術など、興味深く実践的な講習を通して、防犯の普及啓発活動を積極的に行なった。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
	支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ32施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者制度導入以前の管理委託時代から、こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行っていた長年の経験を活かし、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や様々な職員研修が体系的に実施されており、それらの取組により、良質かつ均質なサービスの提供が行われている。また、各館においても、老人いこいの家の利用者を講師として迎えて「バックギャモン」や「むかしあそび」をしたり、高校吹奏楽部によるコンサートを開催するなど、多世代交流や地域交流にも積極的に取り組むなど、館の特色を生かした取り組みを行っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。